

新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症
第 8 8 回 危 機 管 理 対 策 本 部 会 議 次 第

令 和 4 年 1 1 月 2 8 日

1 開 会

2 議 題

- (1) インフルエンザとの同時流行のコロナ第8波に備えた対策の強化について

3 閉 会

インフルエンザとの同時流行のコロナ第8波に備えた対策の強化について

1 要 旨

今冬においては、新型コロナウイルス感染症について、第7波を上回る感染拡大が生じる可能性があることに加え、季節性インフルエンザも流行し、より多数の発熱患者が同時に生じる可能性が懸念されている。

重症化リスクの低い有症状者の方を迅速な検査と療養につなげ、診療・検査医療機関への受診集中を緩和するとともに、同時流行下においても、外来医療機関のひっ迫を防止し、高齢者や重症化のリスクの高い方が漏れなく受診できる診療・検査体制を確保する。

2 内 容

(1) 特別養護老人ホーム等の下水サーベイランス実施（別添資料1）

施設の下水を採取しPCR検査を実施することにより、新型コロナ及びノロウイルス、インフルエンザの感染者発生をより早期に探知する。

(2) 高齢者対象の臨時検査施設の設置

北歯科医師会・滝野川歯科医師会の協力により、両歯科医師会館において、有症状の65歳以上の高齢者を対象にPCR検査会場を開設し、診療・検査機関のひっ迫を軽減する。

(3) 区内薬局における有症状者向け抗原定性検査キット配布（別添資料2）

区薬剤師会と連携し、区内の調剤薬局において、有症状者に対してセルフチェック用の検査キットを即日配布し、早期診断の推進を図る。

(4) Web上での抗原検査キット在庫状況表示

区薬剤師会のWEBシステムを活用し、検査キット配布薬局の在庫状況を見える化し、有症状者が迅速確実に検査キットを入手できるよう支援する。

(5) オンライン診療体制の強化

区内医療機関間の陽性者の情報共有を推進し、セルフチェックで判明した陽性者等が確実にオンライン診療を受けられる体制を構築する。

(6) 小中学生への抗原定性検査キット事前配布（別添資料3）

小中学生に抗原定性検査キットを配布し、受診前に新型コロナウイルス感染症へ感染の有無を判定することにより、小児科外来の負担軽減を図る。

北区におけるインフルエンザとの同時流行のコロナ第8波に備えた対策の強化		
高齢者 (施設等)	特別養護老人ホーム等の下水サーベイランス実施 施設の下水を採取しPCR検査を実施することにより、新型コロナウイルス及びノロウイルス、インフルエンザの感染者発生をより早期に探知する。	約10施設
高齢者 (在宅)	高齢者対象の臨時検査施設の設置 歯科医師会館において、歯科医師により高齢者を対象にの新型コロナウイルス検査を実施し、診療検査機関のひっ迫を軽減する。	2施設
中学生 ～64歳	区内薬局における有症者向け抗原検査キット配布 区薬剤師会と連携し、区内の調剤薬局において、有症状者に対してセルフチェック用の抗原検査キットを即日配布し、早期診断の推進を図る。	薬局 約50か所
	Web上での抗原検査キット在庫状況表示 区薬剤師会のWEBシステムを活用し、キット配布薬局の在庫状況を見える化し、有症状者が迅速確実にキットを入手できるよう支援する。	
	オンライン診療体制の強化 区内医療機関間の陽性者の情報共有を推進し、セルフチェックで判明した陽性者等が確実にオンライン診療を受けられる体制を構築する。	マッチング センター 1か所
中学生 以下	小中学生への抗原検査キット事前配布 小中学生に抗原検査キットを配布し、発症した際に受診前に新型コロナウイルス感染の有無を判定することにより、小児科外来の負担軽減を図る。	配布対象 約23000人

特別養護老人ホーム等の下水サーベイランス実施について

1 要 旨

重症化リスクの高い高齢者等が入所する施設にウイルスを持ち込まない対策を徹底しており、感染発生時には、保健所による積極的疫学調査の実施と施設内感染対策指導を行っているが、施設内クラスターの発生を完全に防ぐことはできず、第8波においては、更なる対策強化が求められている。

このような状況下、科学技術振興機構および東京大学工学部の研究チームより、早期に陽性発生を探知する技術開発を目的とした、施設から排出される下水中のウイルス検査研究事業への協力依頼があった。

区としては、当該研究事業に協力することが、新型コロナウイルス感染症対策の進展に寄与するとともに、北区における高齢者施設の感染クラスターの発生を阻止するために有効であると考え、研究チームと連携し実施することとする。

2 研究事業の概要

ウイルスを吸脱着する新素材の開発と、効率的濃縮法を確立することにより、下水中の新型コロナウイルスに対する高感度検出法を創出する。

3 実施施設（予定） 合計9施設

上中里つつじ荘、清水坂あじさい荘、桐ヶ丘やまぶき荘、
王子光照苑、みずべの苑、飛鳥晴山苑、新町光陽苑、
赤羽北さくら荘、浮間こひつじ園

4 下水採取方法・検査の頻度

施設の最も下流のマンホール内に、24時間サンプラー（綿状のもの）を浸漬し、原則として週5日、サンプラーを取り換え、下水を採取、検査・分析する。

5 検出ウイルスの種類（予定）

新型コロナウイルス、ノロウイルス、季節性インフルエンザウイルス

6 スケジュール等

11月24日	試行採取開始
29日	健康福祉委員会報告
12月初旬	研究実施者との覚書締結 プレスリリース
	下水採取・検査分析 本格実施
令和5年1月末	終了予定

7 その他

検査・分析の結果、新型コロナウイルスが検出された場合は、入所者および従事者の一斉検査を実施することにより発生源を特定し、早期の施設内感染対策を徹底する。

区内薬局における有症状者向け抗原検査キットの配布について

1 要 旨

東京都の抗原定性検査キット（以下、検査キットという。）配布事業を活用した、区内薬局での検査キットの無償配布を行い、重症化リスクの低い有症状者の方を迅速な検査と療養につなげ、診療・検査医療機関への受診集中を緩和する。

このような取り組みにより、同時流行下においても、外来医療機関のひっ迫を防止し、高齢者や重症化のリスクの高い方が漏れなく受診できる診療・検査体制を確保する。

2 配布対象者

13歳～64歳の北区在住の方で、「新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる症状がある方（有症状者）」または「濃厚接触者」に無償で配布する。

3 協力機関・配布方法

一般社団法人北区薬剤師会の協力・連携により、配布に協力する区内薬局にて、1人当たり2テスト分を無償配布する。（※配布薬局数については、調整中。）なお、各薬局の検査キット在庫状況は、区ホームページにて、地図形式などにより確認可能とする。

4 配布開始時期 12月上旬（予定）

5 その他

検査キットによる検査結果が陽性疑いの場合には、必要に応じてオンライン診療医療機関を紹介するとともに、東京都陽性者登録センターへの登録申請を行うなど、その他の支援策と合わせて周知する。

また、検査結果が陰性の場合でも、受診を希望する場合には、かかりつけ医や最寄りの医療機関を受診するよう周知を図る。

なお、本件については、区ホームページやSNS、北区ニュース 12月10日号での周知を予定している。

小中学生への抗原定性検査キットの事前配布について

1 要 旨

小児については、過去の季節性インフルエンザ流行期において多くの感染者が発生し、また、新型コロナウイルス感染症においても、第7波以降、陽性者の約2割を、十代以下が占めていることから、感染の拡大に伴い、より深刻な状況になる可能性がある。

このため、第8波における小児科診療所の受診集中緩和策の一つとして、検体の自己採取が可能な小中学生に対し、抗原定性検査キット（以下、検査キットと言う。）を教育委員会事務局との連携により事前配布し、体調不良時には自主検査したうえでの受診を推奨する。

これにより、新型コロナウイルス感染症の感染の有無による一定の振り分けを通じて、小中学生を必要な医療へと迅速そして効率的につなぐとともに、小児科外来の安心・安全な診療検査体制を確保する。

2 検査キットの配布方法・配布数

区立小中学校を通じて、児童・生徒一人あたり2テスト分を配布する。

なお、区立小中学校以外に通う児童・生徒には、申請により住所地へ配送する。

3 配布開始時期

12月初旬

申請受付は、配布開始から1か月程度とする。

4 パッケージ内容物

- ・区からのお知らせ
（検査のタイミング・結果が陽性（陰性）だったら など）
- ・検査キット 2テスト分
- ・使用方法（説明書）

5 発症した時の流れ

裏面参照

小中学生への抗原検査キット配布事業 発症した時のながれ

